

平成26年度

# 施設事業報告書

社会福祉法人 恵の園

種 別	施 設 名 称
障 害 福 祉 サ ー ビ ス 事 業	ベ テ ル
障 害 者 支 援 施 設	グ レ イ ス ホ ー ム
障 害 者 支 援 施 設	あ け ぼ の ホ ー ム
障 害 者 支 援 施 設	め ぐ み の 里
障 害 福 祉 サ ー ビ ス 事 業	エ ス テ ル
障 害 福 祉 サ ー ビ ス 事 業	シ ャ ロ ー ム
障 害 福 祉 サ ー ビ ス 事 業	ダ ビ デ ホ ー ム
	ク ロ ス ホ ー ム
	バ ル ナ バ ホ ー ム
	さ く ら ホ ー ム
相 談 支 援 事 業	ぶ ど う の 木
認 知 症 対 応 型 老 人 共 同 生 活 援 助	さ つ き
渋 川 市 心 身 障 害 者 ( 児 ) デ イ ・ サ ー ビ ス セ ン タ ー	あ じ さ い の 家

## 目 次

第1章 年間行事、集会等	1
第2章 会議・研修・集会等一覧	3
第3章 障害福祉事業	
1.ベテル〔就労移行支援事業・就労継続支援事業B型・継続入所支援事業〕	5
2.グレイスホーム〔生活介護事業・施設入所支援事業〕	10
3.あけぼのホーム〔生活介護事業・施設入所支援事業〕	15
4.めぐみの里〔生活介護事業・施設入所支援事業〕	22
5.エステル〔就労継続支援事業B型〕	26
6.シャローム〔就労継続支援事業B型〕	29
7.マイーム〔共同生活援助事業・共同生活介護事業〕	32
ダビデホーム	32
クロスホーム	33
バルナバホーム	34
さくらホーム	35
第4章 相談支援事業	
1.ぶどうの木	36
第5章 高齢福祉事業	
1.さつき〔地域密着型サービス認知症対応型老人共同生活援助〕	37
第6章 公益事業	
1.あじさいの家	3

# 第1章 年間行事、集会等

(法=法人、B=ベテル、GH=グレイホーム、AH=あけぼのホーム、里=めぐみの里、E=エステル、あ=あじさいの家、シヤ=シヤホーム、さ=さつき、マ=マイム)

月	合同行事	施設別行事	研修会・集会・会議	その他
4	辞令交付式 1日 家族会総会・懇談会 19日	お花見(各施設で実施) いちご狩り(さ) 24日	現任研修1回(各施設で実施) 創立の精神を学ぶ集い 5日 一般職研修会 21日 役職研修会 21日 新任チーフ研修 25日	新任職員歓迎会 2日 チャイの日 14日 身障分科会・障害福祉部会 23日
5		知的施設レクリエーション大会 22日	現任研修1回(各施設で実施) 監事監査 15日 創立の精神を学ぶ集い 17日 理事会・評議員会 19日 指導職研修会 19日 経営会議 20日 テーマ別研修 20日	職員旅行① 23日 介護職員初任者養成研修開講式 26日
6		クロスホーム開所式 15日 10周年記念会食会(さ) 17日 身障施設レクリエーション大会 25日 日帰り旅行(里) 26日	現任研修1回(各施設で実施) 理事長研修会 2日 故人を偲ぶ会 14日 管理職研修会 16日 新任チーフ研修 20日 新任職員フォローアップ研修 30日	職員旅行② 6～7日
7	納涼祭 25日	家族連絡会(里) 6日 日帰り旅行(GH) 7日 日帰り旅行(里) 9日 前橋七夕まつり見学(あ) 10日 一泊旅行(里) 15～16日 日帰り旅行(里) 30日	現任研修1回(各施設で実施) 理事会・評議員会 7日 創立の精神を学ぶ集い 19日 経営会議 22日 一般職員研修会 22日 役職研修会 22日	職員ボランティア 19日 身障分科会・障害福祉部会 23日
8		暑気払い・ボランティア交流会 (AH) 6日 暑気払い(里) 10日 日帰り旅行(GH) 11日 日帰り旅行(GH) 28日	理事会・評議員会 11日 指導職研修会 18日 メンタルヘルスクローズ研修 29日	介護職員初任者養成研修開講式 1日 夏季職員交流会 18日
9		日帰り旅行(里) 2日 一泊旅行(シヤ) 4～5日 梨狩り(あ) 5日 日帰り旅行(GH) 10日	現任研修1回(各施設で実施) 創立の精神を学ぶ集い 20日 経営会議 22日	職員旅行③ 12日 職員旅行④ 26～27日

		日帰り旅行(里) 15日 一泊旅行(里) 17～18日 ボランティア交流会(B・GH) 19日 家族会(シヤ) 20日		
10	恵の園後援会バザー 4日 創立記念日(46周年) 20日	一泊旅行(里) 8～9日 りんご狩り(あ) 10日 一泊旅行(マ) 11～12日 日帰り旅行(里) 15日 日帰り旅行(エ) 16日 創立記念セール(シヤ) 19日 家族連絡会(里) 26日	現任研修1回(各施設で実施) 創立の精神を学ぶ集い 6日 永年勤続職員表彰 6日 管理職研修会 21日 一般職研修 21日 役職研修 21日	職員旅行⑤ 10～11日 職員ボランティア 18日 職員旅行⑥ 24～25日 家族会ボランティア 26日
11	筑井孝子先生チャリティ絵画展 22～24日	秋の会食会(さ) 5日 一泊旅行(里) 10～11日 日帰り旅行(里) 19日 日帰り旅行(B) 26日	現任研修1回(各施設で実施) 理事長研修 4日	㈱シモジマ相談役顕彰碑 除幕式 18日
12	クリスマス集会 24日 仕事納め・大掃除 26日	澁川市勤労者協議会との もちつき交流会(里) 6日 もちつき(GH) 9日 年末会食会(AH) 10日 慰労会(エ) 11日 もちつき(AH) 17日 クリスマス会食会(里) 17日 クリスマス会食会(あ) 17日 慰労会(B) 18日 もちつき(シヤ) 18日 クリスマス会食会(さ) 25日 忘年会(シヤ) 26日	現任研修1回(各施設で実施) 理事会・評議員会 2日 テーマ別研修 10日 創立の精神を学ぶ集い 20日 管理職研修会 22日	冬季職員交流会 22日
1	仕事始め・新年会 5日	新年会(GH) 8日 新年会(マ) 11・12日 新年会(AH) 14日 家族連絡会(里) 18日	現任研修1回(各施設で実施) 理事会・評議員会 16日 創立の精神を学ぶ集い 17日 指導職研修会 19日 一般職研修会 19日 役職研修会 19日 経営会議 19日	家族会研修会 18日 ゆうあいフェスティバル 19～21日 マイーム実地指導 20日 身障分科会・障害福祉部会 28日
2		工場見学(エ) 12日 いちご狩り(あ) 27日	現任研修1回(各施設で実施) 創立の精神を学ぶ集い 14日 理事長研修 16日	ぶどうの木実地指導 24日 あすなろ祭 27～28日



集 会 等	職員朝礼	毎日	8:30~8:40	合同事務所	全職員
	全体朝礼	毎週月曜日	8:45~9:00	あけぼのホーム前広場	身体障害者施設利用者、職員
	創立の精神を学ぶ集い	土曜日月1回	10:20~11:50	めぐみホール	利用者、職員

## (2) 研修会

研 修	理事長研修	年3回	17:45~19:00	めぐみの里多目的室	管理職、指導職、一般職
	管理職研修(相談役による)	年3回	10:30~12:00	〃	管理職
	指導職研修(相談役による)	年3回	10:30~12:00	〃	指導職
	新任チーフ研修	年1回	9:00~12:00	めぐみの里会議室	26年度新任チーフ
	新任職員研修(フォローアップ研修)	年2回	9:00~12:00	〃	25年度中途採用職員(T1含む)、26年度新任職員(T1含む)
	新任職員研修	年1回	9:00~20:00	研修センターリバーサイド	26年度中途採用職員(T1含む)、27年度新任職員(T1含む)
	現任研修(一部役職研修含む)	年15回	各部署で設定	各部署	相談役、理事長、管理職、指導職、一般職他
	全体研修	年1回	17:45~19:00	めぐみの里多目的室	管理職、指導職、一般職員
	テーマ別研修	年1回	17:45~19:00	〃	管理職、指導職、一般職、契約職
	メンタルヘルス経営学セミナー	半年間、講師からのフォローアップ		各自	管理職

## 第3章 障害福祉事業

### 1. ベテル〔就労移行支援事業・就労継続支援事業B型・継続入所支援事業〕

#### (1) 概要

新体系へ移行して2年が経過した。継続入所支援に関しては6月に開設したクロスホームに7名が移行、また他施設への移行が進み、残り3名となった。

#### (2) 年間退・入所状況

##### ①就労移行支援事業

退所日	性別	支援機関	入所日	性別	支援機関
7月31日	男性	渋川市			

##### ②就労継続支援B型事業

退所日	性別	支援機関	入所日	性別	支援機関
8月18日	男性	渋川市			
10月14日	女性	福生市			
3月1日	男性	榛東村			

##### ③継続入所支援事業

退所日	性別	支援機関	入所日	性別	支援機関
5月13日	男性	明和町			
5月31日※	男性	沼田市			
5月31日※	男性	渋川市			
5月31日※	男性	渋川市			
5月31日※	男性	嬭恋村			
5月31日※	男性	江戸川区			
5月31日※	男性	新発田市			
5月31日※	男性	足利市			
10月14日	女性	福生市			
11月17日	男性	江東区			

※の7名については、平成26年6月1日よりクロスホームへ移行。

#### (3) 重点目標に対する取り組み

##### ①就労移行支援事業

ア 一般企業への就職者を最低1名は達成する。

- ・関係機関との連携・協力がしっかりと行なえたことで、養生シートクリーニング業務を行なっている会社での企業実習後、就労移行者を1名出すことができた。また、

定着支援を進めたことで就労から 8 ヶ月を経過した現在も、就労継続中である。

- ・就労を目指す方に対し、就労移行支援事業を利用してもらえるための独自の魅力ある日中プログラムの考察・見直しを行なうことと利用希望者や関係機関に対する就労移行支援事業が行なっている具体的な取組内容の情報提供が不足していたという課題が残った。

## ②就労継続支援 B 型

ア 目標工賃（16,000 円）を達成できるよう支援する。

- ・平均工賃は 16,115 円（前年比 510 円増）で目標値を達成した。
- ・各班年間売上と平均工賃

班 名	平成 26 年度実績	平成 25 年度実績	前 年 比
印 刷 班	18,096,954	25,615,772	-7,518,818
販 売 班	4,096,794	4,175,029	-78,235
軽作業班	2,536,872	2,525,498	11,374
製 袋 班	7,595,144	7,840,282	-245,138
各班合計	32,325,764	40,156,581	-7,830,817
平均工賃（月額）	16,115	15,605	510

## ③ 継続入所支援

ア 6 名の生活場所を確保するための検討を行なう

- ・グレイスホームへの移行者 2 名及びグレイスホームへの短期入所利用に係る支援をすすめることができた。
- ・3 月には、グレイスホームとダビデホームへ各 1 名ずつ移行することが決まった。また、継続入所支援事業廃止に向け、残る 1 名の今後の支援方法の検討に着手した。

## （４）各班収支状況

### ①印刷班

- ・年間売上額は、約 1,810 万円（前年度比：70.6%）。売上目標に対する達成率は約 69% という状況であった。前年受注のあった「広報しぶかわ」を落札できなかった事が要因である。しかし、年間収支の累計額は約 96 万円のプラスという結果であった。
- ・収支の伸びについては、群馬県庁からの受注が、昨年度の約 3 倍の 166 万円となったこと、その他にも障害者優先調達推進法下での受注として、県労働局及び国立病院機構西群馬病院という国直轄の 2 機関からの受注や新たに他市の保健福祉事務所や県立高等学校等からの受注があった事が要因である。しかし、渋川市からの受注をみると、昨年度は売上の約 80%を占めていたが、今年度は約 624 万円で売上の 34%に留まった。

### ②販売班

- ・年間売上額 約 409 万円（前年度比：97%）であった。例年のクールビズなどノーネ



クタイの影響で夏場の売上が低迷した。販売商品の仕入を抑えた事で収支としては年間を通して20万円ほどの黒字となった。また、今年度はネクタイに代わる主力商品の開発に力を入れ、オリジナルブレンドコーヒーと利用者作成のハンカチや巾着等の藍染め商品の導入に着手した。オリジナルブレンドコーヒーについては発注先と話し合い、ブレンド内容までは決定した為、次年度は早々にパッケージと名称について決定し、商品展開を進めていく。

### ③軽作業班

- ・年間売上額、約253万円（前年度比：約100%）であった。内訳としては、電線解体作業における売上げはなく、(株)鈴徳から受注している銅箔とアルミの分別作業が1,260,000円、本州油化(株)から受注している発砲スチロールのテープ留めと排水溝部の梱包作業を合わせて919,210円であった。この2社の売上げは、軽作業班の総売上の約86%を占めた。
- ・新規作業として、12月に(株)日本クリエイティブから電線解体作業の依頼があり、1月16日に217kgの電線が納品された。同月19日から作業を開始したが、既存の剥線機では外皮と銅の分離ができず、全て手作業となってしまう、手間がかかるため継続するには至らなかった。

### ④製袋班

- ・年間売上額、約759万円、売上目標達成率は79%であった。  
正職員の配置が安定せず、加えて利用者が4名減となり、製袋機の稼働速度を遅くせざるを得ず、その為、年間売上目標960万円を達成する事が出来なかった。

## (5) 利用者支援

### ①就労移行支援事業

#### ア 訓練内容

##### a 印刷班

- ・パソコンスキルを生かして、就労を目指す訓練として、重点目標であるWordやExcel等の一般的なアプリケーションの訓練を印刷業務に取り入れることができた。
- ・昨年度に続き、内線電話を活用しながら電話対応の訓練を行なった。

##### b 販売班

- ・挨拶や言葉遣いについて意識的に訓練をした。特に電話対応に関して強化をはかり、対外的なアポイントメントの訓練を行なった。次年度はさらにアポイントメント訓練の回数を増やし、経験を重ねる事を検討する。

##### c その他

- ・実際の求人内容に即した訓練内容として、施設での清掃業務訓練を実施した。

### ②就労継続支援B型

#### ア 作業支援

- a 販売班
  - ・9月に利用者1名が退所、また通院や体調不良などにより4ヵ所販売が確保できた日が減少傾向にある。できる限り4ヵ所販売を維持する為、時間差で販売を行なえる場所を探し、一人の利用者に2ヵ所販売をしてもらうなどの対応を行なった。常時4ヵ所での販売を安定して行なえるよう人員の確保が課題である。
- b 軽作業班
  - ・電線の入荷見込みがない状況のなか、(株)鈴徳及び本州油化(株)の2社からの作業を中心に展開した。作業への適応力がより求められるようになり、個別支援計画にも盛り込んで支援を実施した。排水溝部材の梱包作業は、以前は職員中心の作業になっていたが、作業手順や梱包する副資材の数量が見える化したことで、一部の作業工程を利用者が行なえるようになった。
- c 製袋班
  - ・利用者間での声掛けも有り、多少ではあるがコストの意識を持てるようになった。副資材の不良も減らすことができ、仕入額を20万円に抑えることが出来た。
  - ・昨年度から職員の配置が安定しない中、利用者も数名ではあるが作業状況の把握と自発的な行動が見え始め、徐々に全体的にも拡がりを見せている。結果的に利用者間の結束が強まった。

### ③ 継続入所支援

#### ア 生活支援

- ・利用者の治療の為に入院や手術等の対応で病院とのやり取り、支援機関への対応など、総合的な支援を行った。

### ④行事・集会開催状況

月	日	内 容	月	日	内 容
4	17	お花見	9	24	夏季外出支援
6	21	地域サービスデー	11	18	シモジマ相談役顕彰碑除幕式
	25	身障レクリエーション大会		26	秋季外出支援
8	20	東京女学館交流会	12	18	慰労会
9	6	地域サービスデー	1	5	利用者・職員新年会
	19	ボランティア交流会			

### ⑤建物設備等実施状況

- ・競輪公益資金による補助事業を受け、送迎車両の購入
- ・MGMの屋根補修工事（雪被害・保険金にて実施）実施

## (5) 医務面の状況

通院対応・園内治療に関して、継続入所者限定の支援とし支援員にて実施した。

①年間報告

月	日	項 目	内 容
4	11	血圧・体重測定	
5	22	血圧・体重測定	
	26・27	前期健康診断事前検査	尿検査
	30	血液検査	
6	19	血圧・体重測定	
	27	前期健康診断 聴打診	嘱託医（利用者、35歳未満職員）
7	17	血圧・体重測定	
8	21	血圧・体重測定	
9	18	血圧・体重測定	
10	23	血圧・体重測定	
11	6	インフルエンザ予防接種	
	11	レントゲン撮影	レントゲン車
	20	血圧・体重測定	
12	1・2	後期健康診断事前調査	尿検査
	8	後期健康診断 聴打診	嘱託医（利用者）
	18	血圧・体重測定	
1	22	血圧・体重測定	
2	19	血圧・体重測定	
3	19	血圧・体重測定	

※ 9月・10月・11月・12月 生活習慣病予防検診実施（35歳以上の職員）

②通院状況（延人数：通所利用者含む）

内科	外科	歯科	耳鼻科	皮膚科	眼科	神経科	泌尿器科	整形外科	脳外科	循環器科	呼吸器科	他	合計
48	1	0	1	2	2	0	5	8	0	0	3	9	79

（平成25年度 382件）

③医師診察状況（延人数：通所利用者含む）

4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
0	0	39	0	0	0	0	0	36	0	0	0	75

（平成25年度 129件）

④入院状況（継続入所のみ）

氏 名	年 月 日	病 院	病 名
K・Y	27年8月18日～11月17日 （平成25年度 1件）	群馬大学医学部附属病院	甲状腺乳頭癌の頸部リンパ節転移

## 2. グレイスホーム〔生活介護事業・施設入所支援事業〕

### (1) 概要

日中・夜間共にナースコールが多くなり、今まで以上に専門的な身体介助が必要になった。そのような中でソフト面・ハード面ともに多くの課題が生じているが、26年度は主に職員の「介護技術の向上」に力を入れて支援を行なった。

### (2) 年間入退所状況

退所日	性別	支援機関	入所日	性別	支援機関
5月3日	男性	太田市	5月13日	男性	明和町
9月27日	女性	さいたま市	10月15日	女性	福生市

### (3) 重点目標に対する取り組み

#### ①介護技術を向上し、利用者支援の質の向上を目指す

- ・11月より毎月1回、勤務時間内に「スキルアップ研修」を企画し、実施した。研修テーマは、支援を行なううえで共通する課題（特定利用者の移乗動作や入浴介助方法など）をテーマとした。研修を実施したことで、より安全な介護を統一して行なうことができ、介護者の労災予防にもつながった。次年度も継続して実施する。
- ・当初は、胃瘻の対応、知的障害者への支援、認知症予防対策などを検討するため、法人内外の施設での研修を企画したが、勤務体制がとれずに見送った。

#### ②建物設備の5カ年計画を立てる

- ・建物の整備課題のリストアップはできたが、設備面（器具・備品類）の減価償却などの把握が不十分であり、完成に至らなかった。次年度も引き続き検討し、補助金の有効活用も視野に入れて計画を立てる。

### (4) 利用者支援

#### ①生活介護・施設入所支援

##### ア 生活支援

- ・利用者の高齢化と体重増加が見られたため、10月より「献立の基準エネルギー量」を、2,000キロカロリーから1,600キロカロリーに変更し、現状の活動量にあわせた。
- ・入浴体制の見直しの一環として、浴槽に滑り止めシートを貼り、利用者と介助者の転倒防止対策を行なった。また、入浴支援中の「介助者の履き物」も再検討し、長靴から裸足に変更した。
- ・知的障害のある利用者に対する苦情が挙がり、支援体制の見直しを図った。しかし、他利用者のストレスが限界に達しつつある状態になってしまい、本人や周囲の安全面を考慮し、施設移行をすすめることとした。

イ 機能訓練

- ・多職種連携を強化するため、「リハビリテーションモニタリング記録票」を整備し、利用者の身体面や機能面の変化等を随時記録・相談ができるように体制を整えた。

ウ 創作・文化活動

- ・「工芸」に興味・関心の幅を広げることを目的とし、近隣の施設（渋民焼き、ハルナグラス、卯三郎こけし）で創作体験を実施した。外部に出掛けて実施したことで、創作意欲が高まる良い機会になった。次年度以降もつなげたい。
- ・日帰り旅行では、「フルーツ狩り」をテーマに、県内の観光農園への旅行を実施した。

エ 生産活動

- ・キャンドル製作作業は、外部の結婚式場のイベントで販売を行なうことができた。安定した生産量を確保することで、次年度は契約に結びつけたい。
- ・10月より、県共同受注窓口に正式登録した。（発送作業の受注募集があったが、あい見積もりの結果、不採用となった）

オ 医務面

- ・定期的な健康診断・検査・健康相談を行ない、医師の指示を仰ぎながら健康の維持管理を行なった。
- ・9月より、法人内での誤薬対策の一環として、全施設で「薬袋に着色する色」を統一した。
- ・年間報告

月	項目	内容
5	利用者採血、身長測定	血液は保健科学東日本で検査
6	利用者前期健康診断	嘱託医
7	職員胸部レントゲン撮影・採血	三愛クリニック(35歳未満職員)
11	インフルエンザ予防接種 利用者定期結核健康診断 ブラッシング指導	利用者 20名、職員 15名 渋川保健福祉事務所 県歯科総合衛生センター
12	利用者後期健康診断	嘱託医
1	職員胸部レントゲン撮影・採血	三愛クリニック(35歳未満職員)

※生活習慣病予防健診（35歳以上の職員）

※鍼灸の往診治療を実施（龍華鍼灸院：毎週月曜日）

※マッサージの往診治療を実施（レイス治療院）

※訪問歯科治療を実施（KKデンタルクリニックの都合で、10月まで実施）

・通院状況（延件数）

内科	外科	歯科	耳鼻科	皮膚科	眼科	神経科	泌尿器科	整形外科	脳外科	循環器科	呼吸器科	他	合計
66	20	111	23	60	20	78	143	59	6	5	0	5	596

（平成25年度465件）

・園内治療状況（延人数）

4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
180	183	228	238	243	225	177	163	184	214	195	179	2409

（平成25年度1889人）

・医師診察状況（延人数）

4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
10	11	42	12	12	11	12	43	40	11	8	11	223

（平成25年度194人）

・入院状況

氏名	病名	入院期間	病院
M. I	脳梗塞（死亡）	3/3～5/3	北毛病院
T. H	食欲不振	3/10～4/25	北毛病院
K. T	統合失調症	3/19～5/7	榛名病院
N. S	胃潰瘍出血性ショック （救急搬送・死亡）	9/27	北毛病院
S. N	蜂窩織炎（左足）	10/14～10/23	北毛病院
S. H	肺炎	3/4～3/11	北毛病院
〃	〃	3/17～4/2	北毛病院

②年間行事報告

月	日	内容	月	日	内容
4	13	芝中公園清掃参加	9	10	日帰り旅行4班（梨狩り）
	16	花見（はるなの会主催）		19	合同ボランティア交流会
5	22	ポップサーカス招待		25	自治会主催バーベキュー
6	17	地震想定訓練	10	3	ふれあいボーリング参加
	22	ダイヤモンドペガサス招待	11	5	ブラッシング指導
	25	身障レク	12	9	もちつき会
7	7	日帰り旅行1班（さくらんぼ）	1	11	防災訓練（夜間想定）
	10	防災訓練（日中想定）		8	自治会主催の新年会 歳末たすけあい募金配分助成
8	11	日帰り旅行2班（桃狩り）			
	20	防災継走訓練			
	20	東京女学館との交流会			
	28	日帰り旅行3班（梨狩り）			

- ・「料理クラブ（ぴあっと）」と「学習倶楽部」を隔月実施。
- ・「グレイスシアター」を毎月実施。（他施設の利用者も参加）
- ・「なのはな会」「ひとつぶの会」に毎月参加。

### ③建物設備整備状況

- ・地下重油タンクの漏洩防止策として、内面ライニング工事を実施した。  
(第一工業株式会社：8/27～9/5：125万円)
- ・2014年度の日本財団福祉車両を申請し、ハイゼット（軽自動車）が納車された。

月	内 容	月	内 容
4	浄化槽法第11条検査	10	エポック節電機修理
	簡易専用水道定期検査		エブリィ：レジスタ不良のため修理
	身障施設PAS交換工事		樹木消毒
	ワゴンR1年点検		身障厨房の床 清掃と部分塗装
	エポック節電機メンテナンス		害虫駆除
5	樹木消毒	11	館内ワックスがけ
	消防設備点検		多目的室の換気扇交換
6	休憩室火災警報ベル設置		消防設備点検
7	厨房害虫駆除	12	エアリウムカウンターメンテナンス
	からたち寮テレビアンテナ撤去工事		水銀計処分
	自販機前排水柵工事		LPガス保安点検
	加熱ボイラー部品交換		トイレ汚水管詰まり除去
8	居室改修工事 8/27～9/15		男性トイレ立ち便器尿石除去
9	地下重油タンク改修工事 9/3～9/13	1	廊下非常ベル交換
	スプリンクラー自家発電装置修理	2	防災無線戸別受信機設置
	女性浴室濾過器修理		食堂棟雨樋修理
	スプリンクラー点検		

## (5) 短期入所事業

### ①概要

ベテル通所利用者やベテル継続入所事業利用者の体調不良により、ショートステイを長期間利用したため、利用稼働率は57.5%だった。

### ②年間利用状況

支援機関	実利用者数	性別	延べ利用回数及び日数	
榛東村	1名	男	1回	75日
江東区	1名	男	1回	135日
合 計	2名		2回	210日

利用稼働率：57.5%（前年度11.5%）

③重点目標に対する取り組み

ア 個別支援計画に基づいたサービスを提供する

- ・個別支援計画を作成し、本人にとって必要な支援や生活しやすい環境整備を行なった。

イ 近隣の支援機関や見学者、法人内の通所施設利用者等に、短期入所事業の情報を周知させ、利用率向上に繋げる

- ・入所希望の見学者が来園した際は、短期入所事業の情報提供をした。



### 3. あけぼのホーム〔生活介護事業・施設入所支援事業〕

#### (1) 概要

退所者が7名と今までにない状況であった。特に後半に集中したことで入所までに時間を要してしまい年度末になって入所が決まったが全員が今年度までに入所する事ができなかった。また、入退院される利用者も多くおり、稼働率がかなり低く、収支にも大きく影響した。

職員においては、業務中のケガや腰痛により、長期間業務ができない職員が多く出てしまった。そのため腰痛チェック体操の実施や介護リフト導入の検討を始めた。

居室改修工事は、業者選定と見積もりまでとったが工事の段取りが悪く、年度内に工事を行なうことができなかった。そのため次年度の実施となった。

#### (2) 年間入退所状況

退所日	性別	実施機関	入所日	性別	実施機関
6月9日	男性	大田区	7月23日	男性	世田谷区
7月31日	男性	新宿区	10月1日	男性	立川市
10月8日	女性	目黒区	2月27日	女性	国分寺市
11月24日	男性	品川区	3月1日	男性	立川市
11月26日	男性	世田谷区	3月4日	男性	墨田区
12月3日	女性	練馬区	3月27日	男性	日野市
1月31日	男性	八王子市			

#### (3) 重点目標に対する取り組み

##### ①施設の支援体制を再構築する

- ・直接介助に関わる排泄、入浴、食事、更衣、移乗、飲水、整容、口腔衛生の8項目についてのマニュアルは完成した。
- ・全利用者のアセスメントの見直しを始めたが、記載内容の確認に時間を要し、個々の利用者の確認までには至らなかったため、次年度へ引き継いだ。
- ・日中活動等を検討する委員会を発足させたが、全体での検討までには至らなかったため、次年度へ引き継いだ。

##### ②利用者の住環境整備

- ・居室改修工事は、ケース毎に改修する居室、内容、回収後のレイアウトを利用者と一緒に検討したが、本年度で工事を終了することができなかったが、次年度の工事日程まで決定することができた。

## (4) 生活介護・施設入所支援事業

### ①生活支援

- ・マニュアル作成を通して、自分達の支援を振り返る事ができた。
- ・介護中の骨折事故が1件あった。また、重大な事故に繋がる事例もあり、その都度、職員会議等で検証した。
- ・料理クラブ以外の日中活動は、定期的に予定を組み、実施することができた。また、個別支援などで外出や利用者個々に合わせた支援を行なうことができた。

### ②リハビリテーション

- ・理学療法士によるリハビリを同実施。また、理学療法士の指導の下、計画書に沿った機能訓練を実施することができた。また、ベッド上や車椅子上のポジショニングなど理学療法士と連携をとり、体圧分散装置を使用しながら、データを基に安楽な姿勢保持を考えながら対応した。
- ・利用者の状態に合わせた自助具や食事形態、車椅子上の姿勢など職員同士で検討しながら、摂食嚥下専門医による助言と指導を受けながら取り入れる事ができた。

### ③日中活動

- ・文芸同好会は、毎月1回、短歌や俳句、詩を作り、詠み合い、感想を言い合うなど利用者が意欲的に行なっていた。
- ・ひとつぶの会は、毎月1回、聖書や聖歌に親しむ時間として過ごすことができた。
- ・伝統文化を楽しむ会及び書を楽しむ会は、少人数のグループ毎に分かれ、利用者一人ひとりと関わりながら、個々の能力に合わせて支援することができた。
- ・娯楽クラブは、テレビゲームのスポーツを中心に行なった。見ている人も一緒にゲームをする人と楽しみながら行なうことができた。
- ・手芸会は一つの内容に拘らず、利用者個人の趣向に合わせて、作品を作製することができた。

活 動	内 容
ひとつぶの会	あけぼのコミュニティー教会牧師、スタッフの協力による賛美集会
文芸同好会	自作の俳句、短歌、詩を詠む。
音楽クラブ	歌を歌うだけでなく、タンバリンや鈴など楽器も使いながら音楽を楽しむ。
伝統文化を楽しむ会	茶道、華道を楽しみながら行う。
書を楽しむ会	自由な発想で書道を楽しむ。
手芸会	ピン留めやカチューシャなどを作ったり、ハンガー作り、編み物をしたりと利用者が色々な材料を使いながら楽しく、作品作りを行なう。
娯楽クラブ	テレビゲームの体感型ゲームやレクリエーションなど体を動かしながら楽しく行う。

#### ④健康管理

- ・利用者の身体機能の低下から、肺炎や誤嚥性肺炎、尿路感染症で入院される利用者が昨年同様に多くいた。看護師と生活支援員が連携をとり、利用者の状態を確認しながら早期に対応することができた。
- ・障害の重度化により医療的ケアの比重が高くなった利用者について、病院と福祉と連携をとりながら今後のことについて話し合う機会を作った。
- ・職員の腰痛が課題となり、勤務に入る前後に痛みチェック体操を提案し、現場で取り組むことになった。
- ・各月状況

月	内 容
5	前期健康診断事前検査実施（利用者・該当職員）
6	歯科検診実施（利用者） 前期健康診断実施（職員）
7	胸部X－P（職員）
9	耳鼻科健診（利用者）
10～12	生活習慣病予防健診
10	インフルエンザ予防接種実施（利用者・職員）
11	胸部X－P（65歳以上）
12	後期健康診断事前検査実施（利用者・職員）
1	後期健康診断実施（利用者・職員）

#### ・通院状況（延べ人数）

内科	外科	歯科	耳鼻科	眼科	皮膚科	神経科	泌尿器科	呼吸器科	脳外科	整形外科	循環器科	神経内科	乳甲	合計
151	17	18	0	15	26	51	97	14	28	3	10	18	0	448

（平成25年度 448人）

#### ・園内治療状況（延べ件数）

4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
449	617	467	515	607	508	470	296	391	423	350	461	5,554

（平成25年度 5,906件）

#### ・医師診察状況（延べ人数）

4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
26	23	10	26	25	25	26	29	22	24	25	45	306

（平成25年度 148人）

#### ・入院状況

氏名	病名	期間	病院名
O. M	腸管機能障害	3/12~4/2	北毛病院
O. M	腸管機能障害	4/5~4/28	北毛病院

Y. K	急性胃腸炎	4/6~4/10	北毛病院
M. T	急性胃腸炎	4/17~4/24	北毛病院
F. H	PEG交換	4/16~4/17	北毛病院
A. R	胆石・胆のう炎	4/28~5/8	北毛病院
N. H	発熱・嘔吐	4/27~5/8	北毛病院
T. T	丹毒	5/8~5/19	渋川総合病院
N. S	腎盂炎	5/22~5/28	渋川総合病院
M. T	低カリウム血症 心不全	6/17~6/20	西群馬病院
N. H	肺炎	6/17~6/26	北毛病院
K. H	PEG交換	6/25~6/26	北毛病院
M. T	意識消失発作	7/9~7/12	西群馬病院
M. E	器質性人格障害	7/10~8/27	榛名病院
M. T	肺炎	7/15~31	上武呼吸器科内科病院
A. R	尿路感染症	7/16~7/28	北毛病院
N. S	尿路感染症	7/17~8/5	北毛病院
O. M	イレウス	7/21~8/28	北毛病院
N. H	PEG交換	7/28~7/29	北毛病院
S. K	尿路感染症	8/1~8/12	渋川総合病院
T. T	呼吸不全	7/16~8/27	上武呼吸器科内科病院
N. H	気管支炎	8/19~8/29	北毛病院
Y. K	嘔吐・胃腸炎	9/13~9/24	北毛病院
N. H	気管支炎・喘息	9/13~9/19	北毛病院
S. K	尿路感染症	9/7~9/16	渋川総合病院
F. H	肺炎・尿路感染症	9/9~10/8	北毛病院
S. K	腎盂腎炎	9/1~9/8	有馬クリニック
H. M	脱水・貧血	9/27~10/21	北毛病院
N. H	誤嚥性肺炎	9/27~10/23	北毛病院
O. A	尿路感染症	10/7~10/27	北毛病院
F. H	尿路感染症	10/11~11/27	北毛病院
O. M	イレウスの疑い	10/16~10/31	北毛病院
N. H	胃瘻チューブ先端位 置異常	10/24~11/7	北毛病院
S. H	嘔吐	10/24~11/17	上武呼吸器科内科病院
A. R	大腿部骨折 心筋梗塞	10/24~2/25	関口病院 北関東循環器病院
K. Y	肺結核の疑い	10/24~12/24	西群馬病院

K. H	ペグ交換	10/27～10/28	北毛病院
T. T	脱水	11/2～11/10	北毛病院
M. E	浮腫	11/8～12/1	北毛病院
S. H	反復性誤嚥性肺炎	11/18～12/4	上武呼吸器科内科病院
T. T	膀胱炎	11/14～12/1	北毛病院
H. M	摂食量低下、下痢 低アルブミン血症	11/8～12/3	北毛病院
A. M	嘔吐	12/4～12/9	西群馬病院
N. H	嘔吐	11/16～12/5	北毛病院
T. T	嘔吐、発熱	12/2～12/11	北毛病院
F. H	肺炎	12/6～12/18	北毛病院
F. H	肺炎、尿路感染症	12/24～1/13	北毛病院
I. N	肺炎	1/14～1/26	群馬大学医学部付属病院
T. T	発熱	12/13～1/22	北毛病院
O. M	イレウス	12/3	北毛病院
H. M	肺炎	1/23～1/31	北毛病院
F. H	尿路感染症	2/18～2/26	北毛病院
N. H	気管支炎	2/17～2/24	北毛病院
I. N	虫垂炎、腸炎	2/21～3/12	群馬大学医学部付属病院
N. H	急性気管支炎	2/28～	北毛病院
T. T	脱水、高ナトリウム ・高カリウム血症	2/12～3/2	北毛病院
T. T	尿路感染症の疑い	3/4～3/31	北毛病院
K. H	ペグ交換	3/9～3/10	北毛病院

・訪問歯科状況（延べ件数）

4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
88	79	54	32	30	17	—	—	—	—	—	—	300

・訪問マッサージ（延べ件数）

4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
28	24	53	21	25	28	25	18	28	18	28	33	329

⑤食事

- ・10月より利用者の実態に合わせ、2,000kcal から 1,600kcal に基本エネルギーを変更し、個人の活動量に合わせた食事の提供を行なった。
- ・低栄養の利用者に対して、医務、生活支援員、給食で連携を取りながら高カロリーゼリーなどの補助食品の提供を行なった。
- ・月1回の選択メニューや郷土弁当、鍋など季節に合わせた料理を提供することができた。

【常食】

平成 26 年度	4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月
エネルギー	2010	2003	2002	1998	2003	2002
蛋白質	75.7	72.9	70.8	72.7	74.7	71.9
脂質	51.1	51.8	52.2	52.9	51.7	52.8
塩分	11.9	11.4	11.1	11.5	11.5	10.9
	10 月	11 月	12 月	1 月	2 月	3 月
エネルギー	1616	1609	1609	1620	1613	1612
蛋白質	62.5	62.0	63.0	63.8	52.3	61.3
脂質	43.4	45.3	43.7	44.4	43.0	43.4
塩分	10.4	11.1	11.0	11.0	10.6	10.5

平成 26 年 10 月より、エネルギー見直しの関係で設定を 2000kcal から 1600kcal に変更。

【軟菜食】

平成 26 年度	4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月
エネルギー	1435	1406	1406	1409	1406	1401
蛋白質	55.8	53.1	50.2	51.1	54.0	50.9
脂質	43.3	43.7	44.9	45.6	44.8	44.2
塩分	11.9	11.1	11.1	11.0	10.9	10.7
	10 月	11 月	12 月	1 月	2 月	3 月
エネルギー	1416	1405	1404	1422	1395	1425
蛋白質	53.6	52.4	52.2	54.0	52.6	52.9
脂質	43.1	45.1	44.9	44.2	42.5	73.7
塩分	11.0	11.5	11.2	11.6	11.0	10.8

⑥年間行事報告

月	日	内容	月	日	内容
4	16	花見	10	25	館内ワックスがけ
	19	家族懇談会		29	夜間想定避難訓練
5	26～ 29	利用者採血	11	11	利用者レントゲン撮影
				26	館内ワックスがけ
6	18	歯科検診	12	4	館内ワックスがけ
	25	身障施設レクリエーション		10	年末会食会
	26	利用者聴打診		12	東京都第三者評価受審
7	22、23	職員レントゲン撮影、採血		17	もちつき
8	6	暑気払い、ボランティア交流会	2	18	館内ワックスがけ
9	3、10	耳鼻科検診		25	地震想定避難訓練
		17	地震想定避難訓練		

## (5) 建物設備整備状況

- ・日本財団より補助を受けリフト車輦を購入。
- ・リフト車輦1台、車椅子乗車車輦1台を廃車した。

## (6) 短期入所事業

### ①重点目標に対する取り組み

- ア 利用時に日常生活の支援だけでなく、楽しみを持って利用ができるような日中支援を行なう
- ・利用者や家族からの要望や意見を聞きながら、施設での生活を安心して、楽しく過ごすことができる個別支援計画の作成、個別支援計画に基づいた支援を行うことができた。
- イ 報告、連絡、相談を円滑に行なうことで、ご本人だけでなく家族と信頼ある関係作り努める
- ・定期的に利用されている利用者には、連絡ノートを活用しながら利用時の状況などをご家族に伝えることができた。長期利用されている利用者には、福祉や家族に状況などの連絡を入れた。

### ②利用状況

[短期入所事業]

依頼市区町村	実利用者数	性別	のべ利用回数	のべ利用日数
渋川市	4名	女性	53回	186日
		女性	1回	2日
		男性	1回	30日
		男性	2回	6日
安中市	1名	女性	1回	103日
沼田市	1名	男性	2回	5日
目黒区	1名	男性	1回	243日
世田谷区	1名	男性	4回	39日
合計	8名		65回	614日

利用率 56.8%

[目黒区重度身体障害者短期入所事業委託]

依頼市区町村	実利用者数	性別	のべ利用回数	のべ利用日数
目黒区	1名	男性	1回	8日
合計	1名		1回	8日

## 4. めぐみの里〔生活介護事業・施設入所支援事業〕

### (1) 概要

利用者の高齢化や障害の重度化に伴い、男性の入浴体制の見直しに着手した。（一部利用者の日中入浴実施）また、支援向上の取り組みでは、昨年度に続いて「職員セルフチェックシート」（全社協「虐待防止の手引き」より）を実施、具体的な支援方法や意識の変化を職員一人ひとりに振り返ってもらった。

建物関係では、国庫補助を受け「外壁塗装工事及び屋上防水加工工事」を実施した。

### (2) 年間入退所状況

退所日	性別	支援機関	入所日	性別	支援機関
			4月1日	女性	榛東村

### (3) 重点目標に対する取り組み

#### ①利用者個々の支援体制の見直しを図る

- ・男性の車椅子利用者を中心に入浴体制の見直しを図り、日中入浴の実施に繋がった。
- ・班活動の実施がままならず、日中のプログラムにおける課題が明確となった。

#### ②利用者の生活空間の整備をする

- ・利用者居室タンス購入を目指し、業者選定を行なうも難航し、ようやく年度末になり購入に結びつけることができた。今後は新規購入だけでなく、既存タンスのリフォームの含めた対応を業者と話し合い進める。
- ・男性浴室にリクライニング機能付シャワーチェア購入した。

### (4) 生活介護事業・施設入所支援事業

#### ①生活支援

- ・家族面談を実施する予定も 31 家族のみで終わってしまった。残りの家族面談は次年度に実施する。

#### ②健康管理

- ・年明けから「インフルエンザ（A型）」が流行し、利用者 41 名、職員 10 名が感染してしまった。改めて感染症対策をまとめ、情報収集そして予防対策の強化を図ることとした。

#### ・年間報告

月	項目	内容
5	採血	全利用者対象
6	歯科検診 春の健康診断（聴打診）	全利用者対象 全利用者対象、35才未満職員
7	胸部レントゲン・採血	35才未満職員



8	ブラッシング指導	県歯科センター職員来園
10	耳鼻科検診	全利用者対象
11	秋の健康診断（聴打診） インフルエンザ予防接種	全利用者対象 全利用者、職員対象
12	胸部レントゲン	全利用者対象
1	胸部レントゲン、採血、聴力等	35才未満職員（特定業務実施者）
※	10月・11月・1月・2月	生活習慣病予防検診実施（35才以上職員）

・通院状況（延件数）

内科	外科	歯科	訪問歯科	耳鼻科	皮膚科	眼科	泌尿器科	整形外科	脳外科	婦人科	精神科	合計
153	60	185	26	9	3	45	29	36	14	1	87	648

（平成25年度 750件）

・園内治癒状況（延人数）

4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
796	772	845	796	882	804	719	822	864	713	556	768	9337

（平成25年度 9639人）

・医師診察状況（延人数）

4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
4	3	5	4	4	4	4	4	3	4	3	5	47

（平成25年度 49人）

・入院状況

氏名	病名	入院期間	病院
O・K	腸閉塞	5/7～5/19	渋川総合病院
T・M	子宮筋腫	7/9～7/19	前橋協立病院
M・M	腸閉塞	7/29～8/4	渋川総合病院
F・M	肺炎	1/7～1/16	渋川総合病院

③食事

・専門医の指導のもと、食形態の変更、訓練、自助具の使用を進めた。また、食環境整備のため、肘付き椅子を購入した。

平成26年度	4月	5月	6月	7月	8月	9月
エネルギー	1929	1944	1944	1924	1919	1928
蛋白質	77.9	76.7	77.4	75	75.8	76.4
脂質	50	51.9	51.3	50.6	48.9	50.2
塩分	10.7	10.1	10.1	9.8	9.8	10.1
	10月	11月	12月	1月	2月	3月
エネルギー	1948	1944	1898	1957	1917	1929
蛋白質	75.4	77.3	74.1	78.1	74.7	76.4
脂質	51.1	50.3	48.3	52.2	48.9	51.1
塩分	9.8	9.6	9.7	9.9	9.9	9.8

④年間行事報告

月	日	内容	月	日	内容
4	24	花見	9	28	障害者スポーツ大会陸上競技

6	26	日帰り旅行（ショッピング）	10	5	障害者スポーツ大会フライングディスク
7	9	日帰り旅行（遊園地）	10	8～9	一泊旅行（東京ディズニーシー）
	15～16	一泊旅行（キャンプ）		16	日帰り旅行（紅葉）
	30	日帰り旅行（グルメ）	11	11～12	一泊旅行（長野・別所温泉）
8	14	暑気払い	12	6	もちつき交流会
9	2	日帰り旅行（フラワーパーク）	3	17	クリスマス会食会
	15	日帰り旅行（野球観戦）		11	活動班慰労会
	17～18	一泊旅行（静岡・熱川温泉）		18	ボランティア交流会

### （５）建物設備整備状況

実施月	内容	実施月	内容
4	ボイラー・パコティンヒーター交換	2	食器消毒保管庫 食品庫棚
8	3階娯楽室エアコン修理 外壁塗装及び防水加工工事 パネルボード交換工事		3
9	3階女性トイレウォシュレット交換工事		

### （６）短期入所事業

#### ①重点目標に対する取り組み

今年度新規利用者は1名であった。しかし、利用希望の問い合わせは多く、施設見学、状況調査の実施、契約締結への流れをマニュアル化した。

#### ②年間利用状況

支援機関	実利用者数	性別	延べ利用回数及び日数	
渋川市	4名	男性	14回	267日
	2名	女性	7回	18日
吉岡町	1名	男性	6回	97日
前橋市	1名	男性	3回	11日
武蔵野市	1名	女性	26回	205日
高崎市	1名	女性	48回	96日
沼田市	1名	女性	39回	146日
板橋区	1名	女性	3回	12日
東吾妻町	1名	男性	2回	4日
合計	13名		148回	856日

利用稼働率 58.6%（前年度 40.0%）

### （７）日中一時支援事業

#### ①重点目標に対する取り組み

短期入所同様の対応を行なった。

②年間利用状況

支援機関	実利用者数	性別	延べ利用回数及び日数	
渋川市	1名	男性	1回	1日
	6名	女性	6回	6日
前橋市	1名	男性	6回	6日
	1名	女性	2回	2日
吉岡町	1名	女性	19回	19日
東吾妻町	1名	男性	66回	66日
榛東村	1名	女性	31回	31日
合計	12名		131回	131日

## 5. エステル〔就労継続支援事業B型〕

### (1) 概要

新規作業の開拓はできなかったが、水澤うどんの箱折り作業を増やすなど軽作業やパンの収入が昨年度を大きく上回った。

平均工賃は9,100円と前年よりも1,180円増額したが、目標工賃の9,500円は達成することはできなかった。

### (2) 年間入退所状況

なし

### (3) 重点目標に対する取り組み

#### ①平均工賃額を9,500円にする

- ・新規作業の開拓を計画していたが、既存の作業の受注量が増えたため新規作業まで手を付けることができなかった。
- ・各作業班の支出の見直しを行ない、節電、節水などのコストダウンに努めた。また、ベーカリー班では特売等を実施し在庫を抱えないようにした。

#### ・生産活動売上と平均工賃

(単位：円)

生産活動内容	平成26年度実績	平成25年度実績	前年比
公園事業	993,384	966,000	+27,384
クリーニング事業	3,947,630	3,840,100	+107,530
パン工房事業	5,806,542	5,096,204	+710,338
軽作業事業	2,979,173	2,573,324	+405,849
合計	13,726,729	12,475,628	+1,251,101
平均工賃(月額)	9,104	7,901	+1,203

### (4) 利用者支援

#### ①生産活動支援

- ・施設外就労加算を取り支援計画通りの支援が行なわれたか、月2回のモニタリング会議を実施した。また、興奮して作業を行うことが困難になってしまう利用者に対し、落ち着いて作業ができるよう仕切版を設置するなど環境面の改善を行なった。

#### ②生活支援

##### ア 業務状況

- ・精神的に不安定な利用者に対して、職員間での連携を密にし保守体制を充実させ見守りの強化を行なった。
- ・レクリエーションとして、日帰り旅行、スイカ割り大会、慰労会、工場見学等

を行なった。

- ・健康管理として感染症を予防するため手洗いを徹底と連絡帳を通じて家族との連携を密にし健康状況の把握に努めた。

#### イ 年間行事報告

月	日	内 容
4	19	家族会総会（懇談会に 17 家族参加）
5	1	お花見（グリーン牧場）
	22	知的障害者施設レクリエーション交流会
6	9	春の健康診断（採血）
	25	春の健康診断（聴打診）
	26	エステル・あじさいの家合同防災訓練（消防署立会い）
8	23	レクの日（スイカ割り）
9	9	福祉パレード利用者 1 名参加
10	16	利用者日帰り旅行（新潟方面）
11	7	秋の定期健康診断・インフルエンザ予防接種
12	2	胸部レントゲン撮影
	11	エステル慰労会（ホワイトパークにて）
1	19	ゆうあいフェスティバル参加（～21）
2	12	サントリー工場見学
	26	エステル・あじさいの家合同防災訓練（消防署立会い）
3	6, 13	エステル地震想定避難訓練

#### ウ 通所支援

- ・通所支援として、1 日 3～4 便の送迎便を運行。利用者の状況に合わせルートや席順を変更しつつ送迎した。待ち合わせ場所に利用者が遅れることは昨年度と余り変化は無かった。

#### エ 保健衛生支援

- ・保健衛生支援として、毎月の体重血圧測定、年 2 回の定期健康診断、インフルエンザの予防接種や胸部レントゲン撮影を実施した。

#### オ 給食支援

- ・給食支援として嗜好調査を行ない、可能な範囲で希望のメニューを取り入れた。また、選択メニューを月 2 回実施した。給食の業者（グリーンハウス）と共に毎月会議を行い、検食での指摘事項について検討した。

#### カ 家庭との連携

- ・家庭との連携として、施設別家族懇談会を開催した。連絡帳を毎朝確認し、特記がある場合は、朝礼で再度確認すると共に、家庭へ電話での連絡を行なった。
- ・グループホーム・ケアホーム利用者については、サービス管理責任者や世話人と連携を密にとった。また、エステル通信は毎月発刊した。

③建物設備整備等実施状況

月	内 容
4	電気メーター、配電盤点検
5	消火器点検、消防設備点検、館内ワックス掛け
10	給湯・暖房ボイラーの清掃、点検 給湯ボイラー膨張タンク交換 館内ワックス掛け、更衣室カーテン交換 プレハブ倉庫交換、配膳室調理台交換
11	害虫防除の薬剤散布（マンナ、配膳室） 消防設備点検、消火器点検
12	給湯ボイラー逃がし弁交換 作業室カーテン交換
2	害虫防除の薬剤散布（マンナ、配膳室）
3	ステップワゴン：日本財団の助成を受け購入

(5) 日中一時支援事業

利用なし。

## 6. シャローム〔就労継続支援事業B型〕

### (1) 概要

利用者の安全を第一に考え、利用者の働く意欲と生産力の向上を目標に支援を行ってきた。生産活動では売上目標を達成。また、平成26年2月14日の大雪によりビニールハウス8棟が全壊したが、資材や重油の高騰等の理由により、今後ハウスは再建せずに露地野菜中心に栽培することとした。なお、保険金(4,072,800円)については農機具の買い換え(りんご栽培用消毒噴霧機、肥料蒔き機、ほうれん草の種蒔き機等)として使用した。

### (2) 年間入退所状況

退所日	性別	支援機関	入所日	性別	支援機関
8月31日	男性	中之条町	4月1日	男性	渋川市
			2月1日	男性	渋川市

### (3) 重点目標に対する取り組み

#### ①生産活動収入1,700万円、月額平均工賃25,000円を目指す

- ・枝豆の作付けを2倍に増やす計画であったが、平成26年2月14日の大雪の影響で作付けを増やすことはできず、例年通りの作付けとなった。また、発芽に失敗し売り上げはほぼなく、次年度への課題となった。
- ・ほうれん草の通年栽培(夏場以外)を定着でき、契約栽培・出荷も順調で、次年度へつながる取り組みとなった。また新たに、わわ菜とスティックセニョールの契約栽培を請け負い、こちらも順調に売り上げを上げることができ、次年度へつながる取り組みとなった。
- ・乾燥芋の加工を2倍に増やす計画であったが、加工の手間や集中して販売可能かどうか再検討し、例年通りの作付けとした。加工の段階でカビが発生、処分し売り上げはなかった。
- ・りんごは、台風被害がなく目標を達成した。新たに、りんご園(3反)を新規契約し、順調に栽培することができた。鹿の被害対策として、一部の園地に電気柵を設置し、改善を図ることができた。苗木が野うさぎの被害を受けたため、対策検討中。
- ・全体の生産活動収入は1,800万円を超え目標を達成し、冬季勤勉手当(12月)、期末勤勉手当(3月)を支給することができたが、平均工賃は24,862円にとどまり、目標の25,000円を下回った。平成25年度まで気候や台風被害等のため売り上げが計画通りに上がらなかったため、平成26年度は平均工賃を低めに設定した。しかし台風被害等なく、またほうれん草の契約栽培が予想以上に順調に進んだため、生産活動収入が100万円以上も目標を上回ったが、平均工賃は平成25年度よりも低くなった。

・生産活動売上と平均工賃

生産活動内容	平成 26 年度実績	平成 25 年度実績	前年比
りんご	11,196,404	8,934,797	+2,261,607
野菜	5,551,759	4,314,856	+1,236,903
加工品	1,440,310	2,142,997	-702,687
清掃委託	252,000	252,000	0
合 計	18,440,473	15,644,650	+2,795,823
平均工賃 (月額)	24,862	27,262	-2,400

#### (4) 利用者支援

##### ① 生産活動支援

- ・朝礼、終礼また各作業現場等で注意を呼びかけ、大きな事故や怪我等を防止することができた。またヒヤリハットや苦情等を職員会議等で検証し、再発防止を図った。
- ・利用者個々の能力・適正を見極め、作業内容・作業配置を固定化することで、作業の効率化を図り、生産性を高めることができた。

##### ② 就労への移行に向けた支援・就労の機会の提供

- ・地域のイベントでの販売に積極的に参加し、外部と接する機会を提供した。
- ・1名の利用者が週2日、企業での実習を継続中だが、具体的な関わり・支援は出来なかった。

##### ③ 生活支援・相談及び援助

- ・社会人として相応しい生活習慣や態度を身につけてもらうため、夜更かしや食生活等、生活習慣の改善を図れるよう、本人だけでなく家庭やグループホームにも協力を呼びかけ、一部の利用者には減量の成果が現れた。

##### ④ 食事の提供

- ・嗜好調査や希望献立を可能な限り取り入れて、バラエティーに富んだ給食を提供した。
- ・年に数回、新たなメニューを考案し取り入れることができ、利用者の楽しみが増えた。
- ・スチームコンベクション導入により、献立の幅が広がり、今まで提供できなかった献立を提供することが出来、利用者の楽しみ、モチベーション向上につながった。
- ・年齢、体格、労働量などを考慮し献立表を作成した。また、肥満対策としての食事指導については、個別に面談を行ない、一部の利用者にやや改善が見られた。
- ・食事の準備及び片付け、食事中のマナーについては、その都度声掛け等の支援を行ない、やや改善が見られた。

##### ⑤ 健康管理

- ・毎月の体重測定、年2回の血圧測定、尿検査を行なうとともに、嘱託医による定期健康診断を実施し、疾病の予防、早期発見に努め、家庭やグループホームと連携して支援を行なった。

##### ⑥ 行事・社会活動支援

- ・数名の利用者に地域のイベント等での販売を経験してもらうことができた。



⑦建物設備等実施状況

- ・群馬県共同募金の補助により、マルチ栽培用トラクター付属作業機購入
- ・マルチ栽培作業機購入

⑧年間行事報告

月	日	内 容	月		内 容
4	3	花見	9	19	家族懇談会
	19	家族懇談会	10	19	恵の園創立記念セール
5	22	知的レクリエーション	12	18	もちつき
9	4～5	利用者旅行		26	忘年会

## 7. マイーム〔共同生活援助事業・共同生活介護事業〕

### (1) 概要

4ヶ所目のグループホーム「クロスホーム」が6月1日に開設した。

群馬県権利擁護センターにマイーム世話人による利用者虐待の通報があり事実確認を行った上で渋川市に報告を行うと共に、あらためて全世話人に向け研修指導を行なった。

### (2) 重点目標に対する取り組み

#### ①利用者の障害に応じた迅速な支援を行えるよう、支援体制を検討する

- ・毎月の打ち合わせ実施にて、サービス管理責任者と世話人だけではなくバックアップ施設職員、日中活動施設職員に出席を呼びかけた事で世話人業務だけでは感じることのできない変化や影響を確認することができた。

#### ②各ホームとの連絡体制を見直し、支援の共有化をはかる

- ・毎月の打ち合わせにてホーム毎による支援の共有化は出来ているが、マイームとして一体的な支援の共有化は図れなかった。

#### ③外部研修の他、今まで行なっていなかった施設内研修を実施し、利用者支援の質の向上をはかる

- ・地域支援部会へ参加した。施設内研修として虐待防止法にて再確認を行う機会をもった。しかし利用者支援の具体的な行動化に結びつけることができなかった。

## ダビデホーム

### (1) 重点目標

#### ①利用者支援の向上に努める

- ・毎月、サービス管理責任者、世話人、バックアップ施設職員、日中活動施設職員にて打ち合わせを実施した。しかし、アセスメントの作成は行なえなかった。
- ・虐待防止についての現任研修を行なった。
- ・地域支援部会、情報交換会へ参加し、接遇、介護技術の知識を習得した。

#### ②防災対策を強化する

- ・2回の防災訓練（火災）を実施した。うち1回は消防署 署員に立ち会って頂き建物整備を含めた助言を頂いた。防災自主点検表の活用は行なえていない。

## (2) 年間入退所状況

退所日	性別	支援機関	入所日	性別	支援機関
12月31日	女性	安中市			

## (3) 利用者支援

### ①生活支援

- ・相談支援事業所 ぶどうの木、家族と打ち合わせを行いながら順次、行なっている

### ②健康管理

- ・毎月の体重測定と記録を行なっている。利用者に応じて血圧測定の実施や、血糖測定の実施、記録を行なっている。場合によって訪問看護、医師への相談を行なった。
- ・胸部レントゲンを実施した。渋川市保健センターにて利用者に応じた健康診断を行なった。

## (4) 建物設備

### ①設備に関するマニュアルを整備し、維持に努める

- ・破損個所については早期の時点で業者へ連絡し必要なメンテナンスを行なったが、設備に関するマニュアルの整備を行なえなかった。

## クロスホーム

## (1) 重点目標

### ①利用者支援の向上に努める

- ・開所して数ヶ月は利用者の不安やストレスが見て取れた。その状況を世話人、サービス管理責任者、相談支援事業所と日々、情報を共有しながら対応方法を統一して支援を行った。
- ・虐待防止についての現任研修を行なった。
- ・地域支援部会、情報交換会へ参加し、接遇、介護技術の知識を習得した。

### ②防災対策につとめる

- ・2回の防災訓練を実施した。うち1回は消防署 署員に立ち合いを依頼し助言を頂いた。各利用者ごとに防災リュックと防災備品を用意した。災害時の避難経路、避難場所について説明を行なった。
- ・防災自主点検表を作成できていない。

## (2) 年間入退所状況

なし

### (3) 利用者支援

#### ①生活支援

- ・開所月に地域住民を招待し交流会（お茶会）を実施したが、その後の積極的な地域交流は行なえていない。

#### ②健康管理

- ・毎月の体重測定と記録を行なっている。必要に応じて血圧測定の記録を行なっている。場合によって受診、医師への相談を行なった。
- ・胸部レントゲンを実施した。その他、渋川市による健康診断の実施を行なった。

### (4) 建物設備

#### ①設備に関するマニュアルを整備し、維持に努める

- ・設備に関するマニュアルの整備を行なえていない。破損箇所については早急に業者へ相談して必要なメンテナンスを行なっている。

## バルナバホーム

### (1) 重点目標

#### ①利用者支援の向上に努める

- ・毎月、サービス管理責任者、世話人、バックアップ施設職員、日中活動施設職員にて打ち合わせを実施した。しかし、アセスメントの作成は行なえなかった。
- ・虐待防止についての現任研修を行なった。
- ・地域支援部会、情報交換会へ参加し、接遇、介護技術の知識を習得した。

#### ②防災対策につとめる

- ・2回の防災訓練（火災）を実施した。うち1回は消防署 署員に立ち会って頂き建物整備を含めた助言を頂いた。防災自主点検表の定着は行なえていない。

#### ③建物設備における修繕計画に沿って、整備をすすめる

- ・修繕計画に沿った整備を行なえていない。不具合や破損が見られた場合には、すぐに修繕、メンテナンスを行なった。

### (2) 年間入退所状況

なし

### (3) 利用者支援

#### ①生活支援

- ・相談支援事業所 ぶどうの木、家族と打ち合わせを行いながら順次、行なっている。

## ②健康管理

- ・毎月の体重測定と記録を行なっている。必要に応じて血圧測定の結果を行なっている。  
場合によって受診、医師への相談を行なった。
- ・胸部レントゲンを実施した。その他、渋川市による健康診断を受診した。

## (4) 建物設備

### ①建物設備における短・中・長期計画に沿って、整備を進める

- ・整備を行なえていない。

### ②メンテナンス後は良い状態が保てるよう、マニュアルを作成し維持に努める

- ・建物設備のマニュアル作成を行なえていない。

## さくらホーム

## (1) 重点目標

### ①利用者支援の向上に努める

- ・打ち合わせに併せて、職員へ個別面談を通し恵の園の職員のあり方について話をした。  
アセスメントの作成には至らなかった。
- ・虐待防止についての現任研修を行なった。
- ・地域支援部会、情報交換会へ参加し、接遇、介護技術の知識を習得した。

### ②防災対策につとめる

- ・防災訓練は実施できたが、自主点検表の活用に至らなかった。

## (2) 年間入退所状況

なし

## (3) 利用者支援

### ①生活支援

- ・相談支援事業所 ぶどうの木、家族と打ち合わせを行いながら順次、行なっている

### ②健康管理

- ・毎月の体重測定と記録を行なっている。必要に応じて血圧測定の結果を行なっている。  
場合によって受診、医師への相談を行なった。
- ・胸部レントゲンを実施した。その他、渋川市による健康診断を受診した。

## (4) 建物設備

- ・特に不具合がなかった為、電化製品等の交換時期について計画をたてていない。

## 第4章 相談支援事業

### 1. ぶどうの木

#### (1) 概要

平成 25、26 年度で約 270 名の計画相談を実施するため、漏れのないように対象者のリストを作成、毎月更新し、計画相談を進めていった。

#### (2) 実施状況（平成 27 年 3 月末時点）

全利用者数	契約者数	未契約者数	計画相談 実施者数	実施率	他事業所 選択者数
279 名	253 名	4 名	253 名	98.4%	22 名

#### (3) 重点目標に対する取り組み

①サービス等利用計画（118 件）、モニタリング（188 件）の作成を計画的に進める

- ・計画一覧を毎月更新した。受給者証の更新時に計画一覧の確認を行なった。特に、新規サービスを利用する方、サービスが終了になる方、区分が更新となる方の計画やモニタリング期間について、漏れがないよう担当者間で確認した。
- ・平成 26 年度は、サービス等利用計画（127 件）、モニタリング（174 件）を作成した。予定していた利用者のうち 4 名の利用者は、市町村の意向により平成 27 年 4 月以降に計画相談を行なうこととなった。

## 第5章 高齢福祉事業

### 1. さつき〔地域密着型サービス認知症対応型老人共同生活援助〕

#### (1) 概要

今年度新規入所者4名、3月時点で定員割れが解消した。

開所10周年を迎え、ご家族等をお招きし、記念の会食会を実施した。

「ターミナルケア」の取り組みに力を入れ、施設見学を実施。医師や家族とも話し合いを進め、緊急時の対処について書面を作成。看取りについての指針も新たに作成した。

今年度後半、職員1名が体調不良で長期欠勤。9月、昨年度から休職の職員が職場復帰。

#### (2) 年間入退所状況

退所日	性別	支援機関	入所日	性別	支援機関
2月19日	女性	渋川市	6月18日	男性	渋川市
			7月8日	女性	渋川市
			3月1日	女性	渋川市
			3月13日	女性	渋川市

#### (3) 重点目標に対する取り組み

##### ①利用者の再アセスメントを実施する

- ・センター方式のアセスメントを採用、対応を進めた。全員分完成しなかったため、来年度も継続し、完成を目指すことになった。

##### ②看取りケアへの取り組み

- ・現任研修、施設見学を実施。職員間で情報共有を図った。
- ・医師と家族、職員で三者面談を実施。緊急時対応の書面を作成し、家族にサインを頂いた。
- ・3月、看取りの対象となった利用者に対し、看取りの指針を作成、家族にサインを頂いた。

#### (4) 利用者支援

##### ①活動

###### ア 生活支援

- ・出来る限り利用者に家事に参加してもらった。農園芸作業では、利用者と野菜の収穫を行なった。健康維持、ストレス解消を図るため、散策の希望にはその都度応じ

た。

イ 創作・文化活動

- ・クッキングクラブ、秋を味わう会を実施。ヒストリームービーを作成し、その時代背景を職員、利用者で振り返った。

ウ 地域活動

- ・意見交換会等を実施した。
- ・市内の中学生の体験学習を受け入れ、利用者と共に家事を行ったり散歩などに出かけた。

②健康管理

- ・1日3回のバイタル測定を実施。記録に残し、日々の健康状態を把握した。
- ・体重測定は1月に実施。毎月の実施を計画したが、当日の職員数の関係等で実施できないことが多かった。

③住環境整備

- ・掲示物をその都度交換した。

④建物設備整備

- ・中庭の整備を計画し業者に見積もりを取った。

⑤年間行事報告

月	日	内 容	月	日	内 容
4	24	イチゴ狩り外出	12	25	クリスマス会食会
6	17	10周年会食会	1	1	新年会
11	5	秋を味わう会	2	3	節分

※意見交換会を7回実施した。



## 第6章 公益事業

### 1. あじさいの家

#### (1) 概要

5月に男性利用者が他施設に入所のため退所。

6月に男性利用者の右上腕部骨折のため入院。8月に退所し他施設に移行した。

利用者ニーズに沿えるよう、音楽関連のボランティアグループの導入、小集団での外出を導入した。また支援の向上を目指し、特に記録方法についての資料を確認しあった。

#### (2) 重点目標

##### ①利用者一人ひとりに合った生活支援を行なう

- ・アセスメントの見直し写真台帳の見直しを行なったが、全員分は出来なかった。  
各利用者のニーズについてご家族と面談を行いつつ支援について検討し、実行した。

##### ②あじさいの家の今後についての検討

- ・渋川市と話し合い、平成27年度は継続する旨の返答を得たが、その後については、次年度へ継続検討となった。

#### (3) 利用者支援

##### ①生活支援

- ・体力低下や機能低下が目立つようになってきており、利用者の支援方法について家族と相談しつつ、理学療法士・職員間での検討を重ねた。

##### ②活動支援

- ・運動では、利用者自身が楽しんで身体を動かせるように、音楽を流し職員も一緒に身体を動かすなどして促した。
- ・創作活動では、七夕まつりの作品作り、カレンダー作りを中心に行なった。利用者全員が何らかの作業に参加し作品を作り上げた。

##### ③健康管理

- ・定期健康診断を2回、レントゲン撮影、インフルエンザの予防接種を行ない、病気の予防、健康の維持管理を行なった。ブラッシング指導の結果は家族にも伝えた。

##### ④家族との連携

- ・4月に家族連絡会を実施した。
- ・連絡帳の他に、送迎時や会食会などその都度顔を合わす際に情報交換を密に行なった。
- ・外出やボランティアの受け入れ時の様子などを写真で手渡した。また、あじさい便りなどで毎月発信した。

#### (4) 年間行事報告

月	日	内 容	月	日	内 容
4	19	家族総会・懇談会	9	5	外出（梨狩り）
	30	会食会（保護者参加）		24	会食会（保護者参加）
5	22	知的者施設レクリエーション交流会	10	10	外出（リンゴ狩り）
6	20	外出（サントリー榛名工場見学）		31	外出(ぐんまフラワーパーク)
7	10	前橋七夕まつり見学	12	17	クリスマス会食会
	16	ミュージックフォーチルドレン施設訪問コンサート		24	恵の園クリスマス集会
			2	27	外出（イチゴ狩り）

#### (5) 年間利用状況

月	開園日	登録人数	実利用人員数	開館時間	延利用人員数
4	21	11	10	147	203
5	20	11	11	140	185
6	21	10	10	147	178
7	22	10	8	154	164
8	19	10	8	133	148
9	20	9	8	140	157
10	21	9	9	147	165
11	18	9	9	126	136
12	19	9	9	133	142
1	19	9	9	133	137
2	19	9	9	133	140
3	22	9	8	154	173
合計	241日	115	108	1687時間	1,928人

(平成 25 年度 235 日 1,645 時間 2,275 人)

開館時間 9 : 00 ~ 16 : 00 (職員勤務時間 8 : 30 ~ 17 : 15)

1 日の平均利用人数 8.0 (1 日の利用定員 10 名)